

令和元年度 第1回米沢市上下水道事業経営懇談会 報告

第1回上下水道事業経営懇談会を開催したので、報告します。

1 日時 令和元年7月25日（木）10：00～

2 場所 市役所 庁議室

3 出席委員

伊藤 智委員、色部文雄委員、内谷百合子委員、遠藤昌敏委員、黄木義久委員、岡田 堅委員、加納正仁委員、近藤哲夫委員、佐藤康子委員、鈴木久美委員、長澤文紀委員、宮川英子委員 以上12名（欠席：羽生一行委員）

事務局

市長、上下水道部長、業務課長、水道課長、下水道課長、業務課長補佐、水道課長補佐、下水道課長補佐兼工事係長、総務係長、財務係長、企画係長、給排水係長、工務係長、施設管理係長、企画係主任

4 会議録

（1）開会（進行：業務課長補佐）

（2）委嘱状交付

（3）市長あいさつ

皆さんおはようございます。只今、委嘱状を交付させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。現在我が国は人口減少が進んでおります。人口減少というのは地方経済であったり、住民の生活・福祉など、色々な分野に影響を及ぼすと言われております。上下水道事業は、公営企業という位置づけで住民サービスを行っております。昨年の今頃は雨がとても少なく、小学校の水泳授業や生活にも影響が出て、市民の皆さんに御不便をおかけしました。今年はそのような心配もなく推移しているようです。上下水道事業というのは、人口減少にも、こういった自然現象にも左右されるという要素を含んでいますが、市としては、地域の活性化、産業の振興、安定的な住民生活、利便性の向上にしっかりと取り組んでいかなければならないと思っております。上下水道は施設の老朽化が進んでいく中で、いかに効率的な事業運営を行い料金を抑えていくかという課題があります。人口減少に伴い国でも水道法の改正を行い、一つは広域化、もう一つは官民連携（コンセッション）を進めていくという方向性が示されました。広域連携については、各自治体それぞれに水道事業を行っているわけですが、これからはどの自治体においても効率的に事業を行うことが重要になってきます。広域連携にどのように対応していくかは大きな課題となっております。また、下水道は本

市は処理場を持っているわけですが、置賜広域行政事務組合で行っているし尿処理事業について、将来的には本市の処理場に一本化できないかと話を進めているところです。住民負担を低く抑えつつ、安心・安全で安定的な運営を心がけながら事業を進めていきたいと思っております。委員の皆様にはそれぞれの御立場から有意義な御意見をいただき、より良い上下水道事業の運営に活かすよう、努めていければと考えております。委嘱状交付にあたって、日頃のお礼を兼ねまして御挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

(4) 委員、事務局職員紹介

(各委員自己紹介) 市長公務のため退席
(事務局自己紹介)

(5) 委員長及び副委員長の選出

事務局案として、委員長には山形大学大学院教授の遠藤昌敏委員に、副委員長には東北税理士会米沢支部の黄木義久委員を提案し、委員全員の了承を得た。

(6) 委員長あいさつ

山形大学の遠藤と申します。下水道事業については3年ほど前に運営審議会で勉強させていただきました。水道についても経営懇談会、運営審議会に参加させていただきました。今回から上下水道ということで「総まとめ」となるな、と思っております。よろしくお願い致します。

(7) 議事(議長:遠藤委員長)

ア 会議の公開・非公開、会議録について

事務局より本市が開催する会議等については、米沢市情報公開条例第24条の規定により原則公開としていることから、この懇談会も公開とする。会議録は、要点筆記とし発言者名は伏せる。会議録も米沢市情報公開条例第7条に規定されている不開示情報には該当しないので公開する旨を説明し、委員からは異議は無く、了承された。

イ 水道事業概要説明

i 経営懇談会の趣旨について

・上下水道部長より経営懇談会の沿革、運営審議会等について説明。

ii 水道事業について

・水道課長より「資料3 水道事業概要」に基づき水道事業の沿革、現状、給水区域、事業について説明。「資料1 新水道事業ビジョン」に基づき水道事業の基本理念等について説明。

・業務課長より「資料1 新水道事業ビジョン」「資料3 水道事業概要」「資料5」に基づき水道事業の経営、料金の推移等について説明。

・ 質疑・意見等

委員：人口減少は今後確実に起こる事だと思いますが、上下水道事業だけでなく市のまちづくり全体に関わってくることだと思います。10年20年後どう対応していくのか市として明確なビジョンを持って、それに基づいて審議をしなければならないと思います。

事務局：本市には10年間の「まちづくり総合計画」というものがあります。それに基づいて連携をしながら上下水道部において計画をたて、運営しております。市全体を考えての経営、運営が大事だと再認識しております。

事務局：本市では昨年度、今年度と今後20年間の計画となる「都市計画マスタープラン」を策定中です。その中で人口減少に対応したコンパクトシティなどを議論しているところです。

委員：マスタープランを策定するにあたってどの程度人口が減少すると見込んでいるのですか。

事務局：米沢市人口ビジョンを平成27年度に策定しており、社人研の数字より減らないように努力する目標を持っています。（後に資料あり）

iii 下水道事業について

・ 下水道課長より「資料6」に基づき下水道事業の沿革、計画、整備状況、下水道の役割、浄水管理センター改築等について説明。

・ 業務課長より「資料4 米沢市の下水道」「資料5」に基づき下水道財政の推移、補助制度、使用料等について説明。

・ 質疑・意見等

委員：今年度から下水道事業が公営企業法適用という事ですが、会計方式が変わることで使用料は変わらないのですか。

事務局：会計方式が変わっても使用料については変更ありません。

事務局：使用料は条例で定められており、変更するには条例の改正が必要です。その前に審議会を開催し諮問、答申をいただきそれに基づいて条例改正という進め方になります。

委員：下水道も公営企業となるわけですが、下水と上水は分けて経理を行うのですか。

事務局：分けて経理を行います。

委員：下水道事業は、どちらにしても一般会計からの繰入がないと経営できないですね。

事務局：基本的に官公庁会計から企業会計に移行しても、一般会計から繰り入れる内容に大きな変更はありません。利用者の皆さんから使用料をいただくのが適当でないもの、例えば雨水処理に係る費用などは、税金を使うという事になります。繰入基準というものがあり、その基準に沿って一般会計から下水道事業に繰り入れを行っております。前年度までは、赤字にならないように繰り入れを行ってまいりました。企業会計になります

と、経営ができる収支バランスの見極めが難しくなるとは思いますが、一般会計から繰り入れてもらうべき金額は、定められています。

事務局：本市では下水道事業に係る費用に対し使用料で賄えている部分は約50%です。半分程度しか賄えていないという事で、本来ならもう少し引き上げを行うべきと考えています。平成28年度に審議会を開催して答申をいただき、使用料引き上げの条例改正を行おうとしました。先ほど市長あいさつにもありましたが、本市には浄水管理センターとし尿処理場であるクリーンセンターがあります。同じような処理施設が2つもあって効率が悪いのではないかと、という事も含め検討をするべきと議会から意見があり、使用料の改定が行えませんでした。

委員：今後2つある処理施設をまとめるという案があるのですか。

事務局：今年5月に置賜3市5町で構成する置賜広域行政事務組合において方針が示されました。置賜2市2町には、し尿処理施設が南陽と米沢に1か所ずつありどちらも老朽化が進んでいることから、今後どうするか置広で検討し米沢の浄水管理センターに、し尿の受け入れ施設を作りそこに2市2町のし尿を集める、という方針です。置広において関係する地区の方々に説明会を行い、現在色々な準備と課題検討を行っている状況です。

委員：もしそれをやった場合、かなり効率化が図られ料金改定にも影響が出るのですか。

事務局：米沢市全体の負担額は、施設更新費用が減り、し尿処理の効率が良くなるために減ります。ただし下水道は、利益が増えるということではないので、適切な使用料はいただかなければなりません。

委員：米沢市以外のし尿も受け入れるという事ですよ。し尿処理に係る費用が増えるという事は他市町からいただくお金もあるという事ですか。

事務局：処理費用を負担していただきますが、し尿は米沢で処理している水量の1%にも満たない量ですので、利益がとても増えるという事にはなりません。

委員：米沢と南陽のクリーンセンターが老朽化しているので、米沢の浄水管理センターでし尿の処理をしようということですよ。

事務局：簡単に言うと米沢の下水処理場に、し尿を受け入れる施設を建て、配管により下水と合わせて処理をするという考えです。

委員長：その他、御意見御質問ありませんか。

事務局：先ほどのまちづくり総合計画の人口見通しについて御説明します。

・上下水道部長よりまちづくり総合計画の人口と水道ビジョンの給水人口の見通しについて説明。

委員長：他に聞いてみたい事がありましたら次回にお持ちいただければと思います。

(8) その他

ア 第2回懇談会について

10月頃、施設見学会を開催する予定。予定が決まり次第、早めに御案内する。

《終了11:35》

以上